

事業評価会 各事業の評価結果

事業	1	各種証明書自動発行システム運用事業	事業費	9,035 千円
分類	チェック	理由(複数選択可)	チェック	コメント(理由の詳細など)
1 不要	0	趣旨・目的に妥当性なし		
		達成手段として不適當		
		効果なし(薄い)・逆効果		
		サービス受給者の自助努力・自己負担		
		他と重複(事業の統合要)		
		その他		
2 民間	0	行政の役割終了		
		サービス水準に違いがあるべき(あってよい)		
		民間の方がより効果的・効率的にできる		
		その他		
3 秋田市 (但し要改善)	6	事業内容の見直し(目標値の設定等)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性がみえない(説明に整合性がとれていない) ・交付の種類を増やせば利用率が上がるのか疑問 ・利用率を上げる必要性はどこにあるのか不明 ・時間外、休日の利用率を考えるのなら、銀行等を参考にすべき ・交付時間の3分は長すぎる(機械の前では長い) ・"誰が"、"何のために"必要としているのかを考えていない ・発行枚数、利用回数等の目標を設定してはどうか? ・PRを工夫してはどうか? ・休日は外部委託による職員配置は考えられないか? ・設置場所をもっと検討すべき(人が集まる場所へ) ・高齢者は今まで通り窓口対応として、自動発行機のターゲットは若者や現役世代としてはどうか ・広報の仕方をもっと考えてみてはどうか ・人件費との比較を検討してほしい ・人件費の削減目標を明確に ・空港の自動チェックイン機のように、機械操作が苦手な高齢者向けにサービス担当者を配置してはどうか(このサービス担当者は外部委託可能では?) ・利用率、利用時間等の目標値を設定する。 ・利用実績を分析することによりニーズを把握し効果的に運用することが必要
		事業規模の見直し(サービス受給者/経費)	2	
		実施手法の見直し(直営、外部委託)	3	
		実施期間の見直し(期限の設定)	0	
		事業の効率化(最小の経費で最大の効果)	2	
		その他	1	
4 秋田市 (ほぼ現行通り)	1			<ul style="list-style-type: none"> ・自動交付システムを導入することで、行政サービスの効率化を図るとともに、交付までの待ち時間の短縮などにつながり、本事業の必要性は認められる。 ・利用状況も増加傾向にあり、事業の有効性も確認できる。 ・事業の効率性については、より波及効果が出るように、他の政策との連携を図ったらどうか?

事業評価会 各事業の評価結果

事業	2	環境貯金市民還元事業	事業費	2,085 千円
分類	チェック	理由(複数選択可)	チェック	コメント(理由の詳細など)
1 不要	0	趣旨・目的に妥当性なし 達成手段として不適當 効果なし(薄い)・逆効果 サービス受給者の自助努力・自己負担 他と重複(事業の統合要) その他		
2 民間	0	行政の役割終了 サービス水準に違いがあるべき(あってよい) 民間の方がより効果的・効率的にできる その他		
3 秋田市 (但し要改善)	6	事業内容の見直し(目標値の設定等) 事業規模の見直し(サービス受給者/経費) 実施手法の見直し(直営、外部委託) 実施期間の見直し(期限の設定) 事業の効率化(最小の経費で最大の効果) その他	2 1 4 0 2 2	<ul style="list-style-type: none"> 秋田市だけでPRするには限度がある。小学校等のリクエストを待つのではなく、他団体(JL、YEG、NPO等)と協力することで経費をかけずに広く情報提供できるのではないかと。 スーパーの前でエコアちゃんを見たが、何のイベントもない時期にポツンといても近寄りづらい。各スーパー等のイベントにあわせた効率的な対応が望ましい。 水道のイベントでエコアちゃんを見たことがある。"エコ"は広い意味を持つので市役所内の横のつながりを持って広く活躍してほしい。 貯金額の計画と事業費の見直しの関係が明確でない 必要な事業を行うなら民間への委託も含めて検討すべきである 学校への出前講座は大いに進めてほしい。 (小さい頃から関心を持つことは大事) 町内会でゴミステーションの管理を進めるための事業を実施するなど、ゴミステーション対策にも力を入れてほしい。 (ゴミステーションをつくる。管理者育成等) 堆肥づくり、食事づくり、マイバッグづくりは不要だと思う。 ゴミ処理費用の単価と貯金の単価を連動させて、予算の裏付けを明確にすることにより、還元事業の拡大を図る。 貯金額の目標設定をするとともに、市民に対するPRを十分にしてほしい。 堆肥づくり事業を、NPOの活用などにより全市的な運動に展開できないか 町内会、NPO、各団体との連携の仕組み作りをして経費をかけない事業の構築をしてほしい 町内会未加入世帯(特にアパート入居者等)からの協力が、今後の減量対策の大きな課題と考える。
4 秋田市 (ほぼ現行通り)	1			<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、市民への啓発活動を通じたごみの減量による地球温暖化対策や資源の有効利用、また税金を無駄なく使うための施策として行っており、市場評価も難しく、民間部門では担当できないため、公共部門が行うことの必要性が認められる。 ごみ減量の効果が読み取れ、環境貯金額も増加しており、事業の有効性も確認できる。 「エコアちゃん」の活動の場を広げることで、子ども向けに普及活動を行えば「ごみ減量」のさらなる効果が期待でき、効率性の観点からも望ましい。

事業評価会 各事業の評価結果

事業	3	市民農園整備事業	事業費	62,085 千円
分類	チェック	理由(複数選択可)	チェック	コメント(理由の詳細など)
1 不要	0	趣旨・目的に妥当性なし 達成手段として不適當 効果なし(薄い)・逆効果 サービス受給者の自助努力・自己負担 他と重複(事業の統合要) その他		
2 民間	1	行政の役割終了 サービス水準に違いがあるべき(あってよい) 民間の方がより効果的・効率的にできる その他	1	<ul style="list-style-type: none"> 趣味の世界に6千万円も投入するのはいかなものか ニーズはあると思われるので、手続きを改正して民間への委譲を図るべき
3 秋田市 (但し要改善)	6	事業内容の見直し(目標値の設定等) 事業規模の見直し(サービス受給者/経費) 実施手法の見直し(直営、外部委託) 実施期間の見直し(期限の設定) 事業の効率化(最小の経費で最大の効果) その他	1 3 2 0 1 3	<ul style="list-style-type: none"> 事業目的に対して今行っている事業が小さすぎる。また、それを課題として捉えていない。 「民間では困難」と安易に判断するのではなく、有料としているのであれば、ある程度の値上げをしても民間とのタイアップを考えて、サービスの向上に努めなければ、交流人口の拡大は望めないのではないか 事業の継続は可能かどうか(いつまで行うかの検討が必要) 事業の民間委託も検討すべきである 無料農園の利用者にも負担導入を検討してはどうか(簡易トイレの設置も可能になるのでは) 市有地(農地)の売却、賃貸も検討すべき 市民利用率の高い事業のようなので、事業の充実と田畑の休耕地の利用を考えてほしい。 農業に親しんだり、自給を促すのは、子育ての観点からも、これからの環境を考える上でもよいことなので、これからも進めていってほしい。 農作業を指導する人の技術や時間の保証も必要なのではないか 観光による経済波及効果の重要性が認識されている現在、秋田の活性化という観点から「緑の健康文化都市」という側面からの情報発信による交流人口の拡大を図ることは、意義のある事業であり、必要性は認められる。 応募状況が1倍以上でニーズもあり、事業の有効性も確認できる。 「ブランドイメージ」による情報発信戦略も選択肢として考えられるのではないか。 ニーズが高いことから農園数のさらなる拡大を望む 無料農園を整備し全て有料農園としてはどうか 1区画を50㎡程度とし、より多くの市民が参加できるようにしてほしい 環境衛生の観点から無料農園にもトイレの整備を検討する必要がある
4 秋田市 (ほぼ現行通り)	0			

事業評価会 各事業の評価結果

事業 4	成人の日記念事業	事業費	2,127 千円
------	----------	-----	----------

分類	チェック	理由(複数選択可)	チェック	コメント(理由の詳細など)
1 不要	0	趣旨・目的に妥当性なし		
		達成手段として不適當		
		効果なし(薄い)・逆効果		
		サービス受給者の自助努力・自己負担		
		他と重複(事業の統合要)		
		その他		
2 民間	1	行政の役割終了	1	・民間の方が新成人のニーズに応えることができる
		サービス水準に違いがあるべき(あってよい)	0	
		民間の方がより効果的・効率的にできる	1	
		その他	0	
3 秋田市 (但し要改善)	2	事業内容の見直し(目標値の設定等)	0	<ul style="list-style-type: none"> 外部委託が可能な部分は検討すべき(他市町村の動向にもよる) 主催者としての市、実行委員会の役割を明確にして行うべき 現在の実行委員会形式をこれからも充実させながら継続してほしい 満足度の高い評価が得られているので、成人する人を中心とした企画を要望する 企画、内容ともに素晴らしいと思うので、予算を削減せずに祝福したい
		事業規模の見直し(サービス受給者/経費)	2	
		実施手法の見直し(直営、外部委託)	1	
		実施期間の見直し(期限の設定)	0	
		事業の効率化(最小の経費で最大の効果)	1	
		その他	0	
4 秋田市 (ほぼ現行通り)	4			<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会での内容をもう少し詰めていけば課題はほぼ解決できるのではないかと 広義の教育の一環であり、公共部門が行うことの必要性は認められる。 出席率の高さや出席者の満足度の高さから有効性も確認できる 恩師と語らうフリートークのコーナーや児童合唱の企画が成人の自覚を促す上で大きな役割を果たしており、引き続き事業の継続が望まれる 次第の流れがよく工夫されており、引き続き、市主催で実施すべき アンケートによれば、音楽を取り入れたことが参加者の気持ちをとらえているものと思う